

健康福祉サービス第三者評価結果 公表 共通様式

1 事業者情報

福祉サービスの種別	保育
事業所名	湖南省立下田こども園（幼保連携型認定こども園）
代表者氏名（管理者）	園長 小山 律子
法人名	湖南省
定員（利用人数）	150名
施設・事業所所在地	滋賀県湖南省下田2224番地
T E L	0748-75-2420
F A X	0748-75-2420
電子メール	shimoda-ns@city.shiga-konan.lg.jp
ホームページアドレス	https://www.city.shiga-konan.lg.jp/soshiki/kodomo_mirai/yoji_shisetsu/28136.html

2 第三者評価機関

第三者評価機関名	公益社団法人滋賀県社会福祉士会
評価実施期間	令和5年11月20日・11月21日

3 評価の概要

○ 総合評価

湖南省立下田こども園では、「幼保連携型認定こども園教育保育要項」に基づき保育教育が提供されています。「子どもたちの今を大切にし、健やかにたくましく生きる力を育てる」という湖南省の保育目標が反映されており、普遍的な視点からのアプローチが日々の保育で実践されています。

「しもだ子ども家庭総合センター」が下田こども園の中にあり、子育て相談がしやすく支援体制が充実しています。保育園内だけの断片的な保育ではなく、多職種との連携が取れており、幼児施設課はもちろん様々な部署、地域の大人が関わり園児を支えています。また、保護者の思いに寄り添い世代間交流や地域との連携、小中学校との連携を大切にしています。

園の運営は、「湖南省子ども子育て支援計画」に基づき基本理念・基本方針が明確にされており、その結果施策の方向性が定められているため、「明るく未来を見つめられる子」を目指した保育に取り組んでいます。「湖南省認定こども園条例」や「湖南省立認定こども園条例施行規則」を遵守し、園長も大変勉強熱心で、外部から取り入れた情報等は副園長や主任職員を通じて全職員へすぐに周知徹底され、保護者も安心して子どもを預けられる保育環境を整えています。

○ 特に評価の高い点

1. 園の環境を活かした保育

園を暖かく見守る地域住民と豊かな自然に囲まれた下田こども園では、園の立地環境をうまく活かした裏山があり、子どもたちは山登りや虫探しを楽しみ、自然との触れ合いを通して、心と体づくりに繋げる保育が行われています。地域住民を巻き込んだ畑作りでは、地域のボランティアの協力を得て、園児の収穫体験・クッキング体験が行われており、子どもたちの食への興味を高めることで食育に繋がっています。

2. 充実した職員研修と働きやすい職場

今回の職員ヒアリングからは、有給の取りやすさ、キャリアアップ研修への参加のしやすさ、職員同士が協働しより良い保育を目指していることが聞き取れました。また、人権研修や園内研修等にも参加できており、一人ひとりの職員が仕事に誇りを持ち、子どもに向き合っている様子が確認できました。

3. 地域に根差したこども園の運営

湖南省が設置する認定こども園として、義務教育及びその後の教育の基盤を培うための教育並びに保育を一体的に行い、子どもの健やかな成長が図られる環境を与えて心身の発達を助長し、保護者に対する子育て支援を行っています。

世代間交流や地域との連携を大切にする取組みとして、小学校・中学校との交流や下田焼きの絵付けを教えてもらったり、畑での栽培活動について指導してもらったりと、地域との関係づくりの「つなぐ場」となるように努めています。

4. 子どもの人権への取組

園は「下田こども園人権保育推進委員会」の事務局として、次代を担う子どもが夢や希望を持ち、生き生きと健やかに育っていけるよう、保護者並びに関係者との連携を密にして、子どもの人権保育の充実を図っています。

○ 改善を求められる点

1. 園の運営面での新たな取組

園舎が古いことに起因する設備面での支障があることは致し方ないですが、保育の記録や保護者との連絡手段などに、各種アプリの導入などデジタル化への移行が望まれます。特に保護者の意見を聞き易くする工夫として、意見箱の設置も必要ですが、昨今のSNSの活用等をお勧めします。

また、職員の人事異動はありますが、園としての理念や基本方針は変わらないので、職員の自己評価についても前年度の評価を元に検討・見直しを行い、課題等を改善していく視点を持って取り組むことを期待します。

湖南省の施策の体系として基本理念や基本方針、施策の方向性は明文化されているので下田こども園としても、市の基本理念等に則った中・長期的なビジョンと事業計画を策定することを望みます。

4 第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回、第三者評価をしていただき項目を一つ一つ確認しながら評価することが出来て園運営や職員体制・保護者対応などを改めて考える機会となりました。日常的に取り組んでいることでも周知が不十分であったり明文化できていなかったりすることが多くあったことにも気づけました。

今後評価内容を元に毎年見直しや改善を実施していけるよう努めたいと思います。園舎の立て替えも計画されているのでそれに伴い主管課と相談しながら業務のICT化を進めていければと考えています。また公立の園として園運営だけでなく市の基本理念等に則った中・長期的なビジョンと事業計画の必要性を感じました。